



埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 そいついちろう

県政報告 Vol.7

保育・教育の質向上について議会で議論!

令和6年12月議会では県議会の一般質問に登壇し、多岐に渡る県政課題を議論しました。是々非々の姿勢で政策提言を行い、具体的に改善に向けた答弁を引き出しました。



渡辺 こども誰でも通園制度が始まるが、**保育の質・安全**にこれまで以上に配慮していく必要がある。近年は他県であるが**不適切保育や保育所等での事故**も発生している。こうした事故の未然防止や保育環境の向上のためさらなる取り組みが必要。具体的には①職員による紙ベースの検査だけでなく**専門機関による第三者評価**を充実させていく②**保育士の負担軽減と処遇改善**に目標値を持って取り組む③**保育士加配**を行う保育所に対するサポートの充実 などの具体策を進めるべき。

県の答弁 保育所の検査については**実地検査を担当する職員を増員**するとともに事務のデジタル化などで監査業務の効率化を図る。保育の質向上には第三者評価の充実は有効と考えるので、今後は**保育所が第三者評価を受診した場合のインセンティブ**などを検討していく。保育士の処遇改善と人材確保については引き続き国に要望する。また保育士加配を行う保育所へのサポート充実については必要性の調査を進める。

渡辺 グローバル人材を育てるSTEAM教育の重要性が高まっている。STEAM教育を進める上で教科指導の専門性を高めることが必要。県内の小学校において教科担任制が進んでいるが、専科教員の教員配置はまだまだ足りない。**県が計画性を持って専門性を持った教員加配を進め**、STEAM教育を推進していくべきではないか。

県の答弁 教員が専門性を持って授業に取り組む教科担任制はSTEM教育の推進にもつながり、教育的な意義が高いと認識している。また教員の授業負担の軽減の効果も期待される。県では専門性の高い指導を目指し、教科担任制を進める。教科担任制の普及には国による定員増も必要であるため、定数改善の要望を行っていく。



大野知事

※STEAM教育…Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)を統合的に学習する。AI時代に創造性や課題解決力を育む教育。

制服等に係る保護者の費用負担の軽減を

渡辺 物価上昇の影響もあり学校用品の費用負担が重くなっている。特に制服は業者の新規参入が図られず価格が高値で維持されるケースが散見される。**「指定物品の決定」や「業者選定のプロセス」**について透明性を高める必要がある。コンペ・入札・見積り合わせの促進、選定委員会への保護者枠の設定、その他費用負担軽減の取り組みが必要ではないか。

県の答弁 保護者の負担軽減策の周知を行うとともに**業者選定委員会に保護者を含める**など県立学校の校長を指導していく。また市町村教育委員会にも参考事例を周知し、公立学校の制服に係る費用負担軽減を促していく。



目吉教育長



地域医療の強化に取り組んでいます!



令和8年に白岡中央総合病院が移転予定です。この機会に病院や市と連携し、地域の医療環境を向上させて行きたいと考えています。

特に**小児医療の充実**については橋本院長とも話し合い、充実を図っていきます。また、昨年の県議会で地域における**がんの緩和ケアの充実や新感染症に備えた病床確保**などを質問しましたが、その後、がん診療拠点病院において緩和ケアを担う事ができる地域医療機関の医師、看護職や医療ソーシャルワーカーなどの育成を行う事になりました。さらに県の医療計画の中で新たに**新感染症に備えた病床確保について目標値**が定められました。一歩ずつ着実に地域医療を向上させていきます。



県道整備の早期完成を促します



篠津地区では道路整備が進んでいます



県では県道春日部菖蒲線の整備を進めています。この道路は春日部市から白岡中学校や篠津地区を通り久喜市菖蒲町まで至る県道ですが、樋ノ口の正楽寺付近において道路がクランク形状になっており道路形状がスムーズではありません。この道路を一直線に繋げる事により白岡菖蒲インターチェンジへのアクセス改善につながります。現在、用地買収率は99パーセント、工事新着率は36パーセント。今後は迂回路の設置や橋の架け替え工事を進めます。事業の早期完成を促していきます。

高温障害に対する農業支援が決定



県議会で農業の高温被害やカメムシ被害について取り上げ、災害指定としてサポートすべきだと訴えました。その結果、高温障害については県の支援が決定し、読売新聞や埼玉新聞に取り上げられました。米稲高温障害について白岡市や宮代町も災害指定となり、被害に応じて補助が行われます。



米や梨など農業者の皆様から現状を聞き取り

県議会トピックス

インボイス制度の廃止を求める意見書を提出



自民党県議団が「インボイス制度の廃止を求める意見書」をとりまとめ、議会に提案しました。賛成多数で可決。インボイスは中小事業者への事務負担が大きくコスト負担も増加し、経営圧迫の要因になっています。昨年、埼玉県議会から国に対して、中小企業への負担軽減策を検討してほしいという要望を出していましたが、**1年以上経っても改善に向けた姿勢が見られませんでした。**そうした国の対応を踏まえて、県議団として国・自民党本部に対して制度の廃止を求めています。



埼玉県への警察官増員が決定!



プロジェクトチームにて

昨年、埼玉県議会から国に対して「警察官の増員を求める意見書」を提出していました。この度、要望の成果があり、政府の令和7年度予算案に「埼玉県警察官175人の増員」が盛り込まれました。埼玉県は、警察官1人当たりの負担人口が16年連続全国ワースト1位、また刑法犯認知件数が9年連続で全国ワースト1位、警察官の過度な業務負担が大きな課題です。埼玉県への警察官増員は平成30年からずっと行われませんでしたので、今回の増員は**治安強化に向けた重要な一歩**です。昨今は闇バイト対策などが大きな課題となっています。地域の安全対策の強化を図っていきます。

警察官の定数は法令で定められていて県独自で増やすのは難しいです。今回は他県と比べても大幅増となりました。要望の成果がありました!



活動日記



予算特別委員会で活動

新年に大野知事と



各地で街頭演説

消防団の表彰式で挨拶



自民党県議団の中で政策を提言



街頭活動にて

渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動を開始。埼玉県議会では自民党県議団に入団。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会、予算特別委員会に所属。家族は妻と一歳の娘。

発行日: 2025年1月17日

発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう県政事務所

連絡先: 〒349-0212 埼玉県新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623

MAIL soichirout21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Instagram